

秋田県鹿角市 ぎかいだより

令和2年2月1日発行
12月定例会
No. 103

世界文化遺産登録推進シンポジウム関連記事 (P 14)

世界文化遺産登録推進シンポジウム
～大湯環状列石の世界文化遺産登録に向けて～

令和元年度 世界遺産登録推進シンポジウム
最新の研究成果からみえてきた
縄文時代の環境と生活
～火山噴火・人口変動・食生活～

立命館グローバル・イノベーション研究機構

中村 大

「北海道・北東北の縄文遺跡群」の推薦ポイントについて
秋田県教育庁 生涯学習課 文化財保護室 文化財主査 新海 和広 氏

最新の研究成果からみえてきた縄文時代の環境と生活
立命館グローバル・イノベーション研究機構 助教 中村 大 氏

P 2 12月定例会の概要 (第6回定例会)

P 4 一般質問 (10名の議員が登壇)

P 9 決算特別委員会審査概要

P 10 議会報告会の概要

P 11 委員会審査ズームアップ

P 13 委員会派遣調査報告

世紀越えトンネル建設加速化市
町議会協議会の活動

P 14 議会中継のスマートフォン・タ
ブレット視聴のご案内

編集後記 ほか

○世界遺産登録に係る状況と今後の予定

令和元年12月20日、令和3年の世界遺産登録に向け、ユネスコ世界遺産センターへ推薦書を提出することについて閣議了解がなされました。これにより大湯環状列石を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」のユネスコ推薦が正式に決定し、国から推薦書が提出されています。

今後は本年中に国際記念物遺跡会議（イコモス）による現地調査が行われる予定です。

○表紙の写真

世界文化遺産登録推進シンポジウム

～大湯環状列石の世界文化遺産登録に向けて～

(令和元年11月17日)